

## 児童・生徒の発達の支援（学習指導要領抜粋）

（生徒指導提要改訂案 第 I 部 第 2 章 発達の支援に基づく教育課程と生徒指導【総則】関連）

## □小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説【総則編】

## 第 1 章 総則

## 第 4 節 児童の発達の支援

## 1 児童の発達を支える指導の充実

## (2) 生徒指導の充実（第 1 章第 4 の 1 の (2)）（抄）

(2) 児童が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導、援助するものである。すなわち、生徒指導は、全ての児童のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が全ての児童にとって有意義で興味深く、充実したものになるようにすることを目指すものであり、単なる児童の問題行動への対応という消極的な面だけにとどまるものではない。

## □中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説【総則編】

## 第 1 章 総則

## 第 4 節 生徒の発達の支援

## 1 生徒の発達を支える指導の充実

## (2) 生徒指導の充実（第 1 章第 4 の 1 の (2)）（抄）

(2) 生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導、援助するものである。すなわち、生徒指導は、全ての生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が全ての生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになるようにすることを目指すものであり、単なる生徒の問題行動への対応という消極的な面だけにとどまるものではない。

## □高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説【総則編】

## 第 6 章 生徒の発達の支援

## 第 1 節 生徒の発達を支える指導の充実

## 2 生徒指導の充実

## (2) 生徒指導の充実（第 1 章総則第 5 款 1 (2)）（抄）

(2) 生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導、援助するものである。すなわち、生徒指導は、全ての生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が全ての生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになるようにすることを目指すものであり、単なる生徒の問題行動への対応という消極的な面だけにとどまるものではない。